お知らせ

令和7年 5月 20日
社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

研究題名 Chemical Exchange Saturation Transfer (CEST) 法による脳腫瘍画像診断技術の開発
(脳腫瘍診断におけるメチオニン PET と Amide Proton transfer (APT) イメージングの相関について)

目的 MRI 検査でできる、脳組織の代謝情報を観察できる新たなイメージング手法と PET
検査所見を比較し MRI による脳腫瘍組織診断技術の向上につながる所見を検索します。

対象 2025年4月以降 2027年3月までに中部療護センターで実施された PET および MRI
による脳腫瘍精査を受けられた、中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターの
脳腫瘍患者の皆様。

方法 当院の MRI 装置で通常行われている脳腫瘍精査の通常検査の一環として行われるため、
患者様にとっては他の MRI 検査と同様に非侵襲的に実施されます。解析は、同時に実施
された PET 検査のデータも併せて行われます。

人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結
不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。

研究代表者 矢野大仁(中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 脳神経外科)

中部脳リハビリテーション病院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では 2025年4月以降 2027年3月までに中部療護センターで実施された PET および MRI による脳腫瘍精査を受けられた、中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターの脳腫瘍患者の皆様のデータを使用致します。

この件につきまして疑義がございましたら令和7年 8月 31日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
事務長 坂下 重吾